

あなたが選ぶ

紀州材の家

作品集・2018



わかやま木の家コンテスト2018

【あなたが選ぶ紀州材の家】概要

目的



紀州・木の国の大地に生まれ生産される紀州材は、古くから、目込みが良く、強度・耐久性に優れ、色合いや香りがよい良質な木材として評価されてきました。

わかやま木の家コンテスト2018「あなたが選ぶ紀州材の家」は、この良質な紀州材の特性を活かした家を表彰することで、紀州材を使用した住宅建築を促進し、ひいては需要拡大による地域の森林・林業・木材産業の活性化を図ることを目的としています。

応募住宅の条件



1. 和歌山県産木材「紀州材」を使用した新築住宅
2. 戸建て住宅、集合住宅、併用住宅、別荘など個人が居住することを目的とした住宅

応募資格



応募する住宅建築に直接関係した県内の事業者（設計者、施工者など）

審査方法



(1) 一次審査

- 紀州材の特性を活かし、紀州材の需要拡大に寄与していることを審査基準に選考
- 建築関係者、森林・林業・木材産業関係者により審査選考

(2) 二次審査

- 一次審査で選考された14作品を県内各地で一同に展示し、県民による一般投票を実施
- 一次審査の得点数と一般投票の得票数の合計により各賞を決定

【主催】 和歌山県

【協賛】 紀北流域林業活性化センター
紀中流域森林・林業活性化センター
紀南流域林業活性化センター



仁坂吉伸和歌山県知事と2018年度コンテストの受賞者



あなたが選ぶ 紀州材の家 作品集・2018

今回紹介する作品は、
わかやま木の家コンテスト2018に応募された14作品です。

【最優秀賞】

広がりをつのしむ家「みどりの斜面に建つ平屋」

●中村伸吾建築設計室 04

【優秀賞】

家族が集まりゆったりと寛げる永く住んで居心地のいい家

●株式会社伸栄木材 06

【優秀賞】

住み継がれる家

●株式会社和秋建設 08

愛犬と過ごす家 ●株式会社紀州産直住宅 10

H邸 ●一級建築事務所寿公 11

くの字の家 ●中村工務店一級建築士事務所 12

新宮市・T邸 ●株式会社スタジオパートスリー 13

高台に建つラウンドリビングのある家
●国土建設株式会社 14

西三谷の家 ●hana class 15

ねこ・と・くらす ●大浦建築設計室 16

広川の家 ●佐藤住宅 17

Finale the kishu Trofeo ●龍神村森林組合 18

ホテルのようなやすらぎ空間の家
●丸石木材住宅株式会社 19

Mediterranean ~ interior ~ ●KK Design 20



受賞作品以外は、作品タイトルの五十音順で紹介しています。



広がりをつたのしむ家「みどりの斜面に建つ平屋」

〈田辺市〉



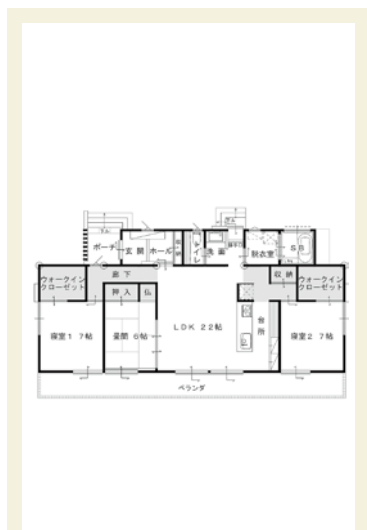
家づくりは住まい手と二人三脚の土地探しから始まりました。探し疲れた頃に見つけたのがこの敷地。南向きのゆるい斜面はしっかりとした岩盤の上にあり、表層は一面の芝生に覆われていました。

提案したのは、斜面と芝生を残したままで平屋の住まいをのせる、自然と共にあるプラン。コンクリート擁壁などでの平地づくりはしませんでした。

南側道路からの視線は高低差を利用しておだやかに遮り、木製の引き込み戸で大開口を造って、お日様も風も充分に取り込みました。全てのお部屋はベランダを通じて外部とつながり、空間の広がりが心まで豊かにしてくれそうな住まいです。

柱・梁をはじめ、ほとんどの木材は龍神材。目込みで色味が良く高い強度を誇る紀州材は、構造材として住まいをしっかりと形づくるだけでなく、心安らぐ意匠づくりにも存在感を発揮しています。また、室内仕上げに使った珪藻土や和紙などと共に調湿・蓄熱などの特性が、機械依存の少ない住空間づくりに貢献しています。

【中村伸吾建築設計室】



DATA

設計 ● 中村伸吾建築設計室
田辺市新方29-24
TEL.0739-24-3824
施工 ● 有限会社新藤工務店
紀州材納材 ● 山本製材



地元に生まれ育った人が地元をよく知るように、紀州の気候風土の中、長い年月をかけて成長した紀州材もまた和歌山県の気候に適している…というのもあるがち間違っではないのだろうか。

『みどりの斜面に建つ平屋』では構造材だけでなく内外造作材、羽柄材に至るまで、紀州材を無駄なく活用した。「なぜ、そこまで木にこだわるのですか。」と聞かれることが度々ある。その質問に対する私の答えはシンプルに「本当の木でつくった家は人にとって心地よいから」である。最近では木材の手触り、香り、美しい木肌、調湿性が人が心地よく暮らす為には有効であることが科学的にも実証されはじめています。

木の家は心地よい





家族が集まりゆったりと寛げる永く住んで居心地のいい家

〈岩出市〉



和歌山にある暮らしの環境豊かな町、岩出市金池。

ご家族が永く愛せる家づくりをご提案させていただきご縁をいただきました。

屋根つきの広い駐車スペースを横目に、情緒あふれる庭が覗ける歩道を歩くと広々とした玄関が現われ、一歩家に入ると木の新鮮な香りが広がります。

居間に入ると吹抜けを通して心地よい陽射しが差し込み、南側の窓からは外の風景が望め、隣の和室は夕涼み、昼寝、読書などゆったり過ごせる空間に。

使い勝手の良いアイランドキッチン、ウォークインクローゼットや、たっぷり収納できるスペース家事動線をまとめた脱衣洗濯など、暮らしが快適になる工夫の住まいです。

2階に上がると、家族の読書スペース、お子様の勉強スペースなど、気分に合わせて自由な空間に変えることができます。

家族との憩いの時間を大切にしたい木の家が完成しました。

【株式会社伸栄木材】

しおらしき家

しおらしい。それはおとなしく、従順であるということ。

「家は街の、自然の一部である」ということを私たちはとても大切にしています。

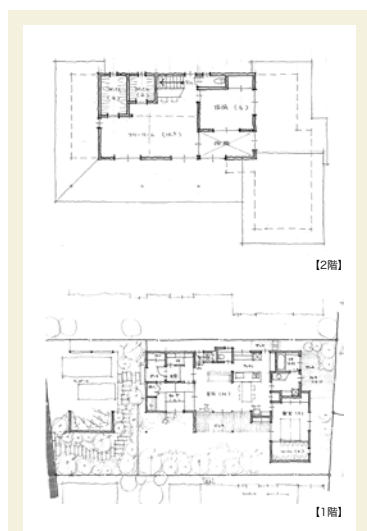
伸びやかな室内空間を確保しながら、低いフォルムで佇むようなデザインが多いのは、これからその場所で、街の景観を担っていくため。

設計の前にその土地の年間の光や風の動きを調べるのは、その土地ならではの自然の変化を受け入れ、心地よく暮らせる工夫を考えるため。

考えてみれば、私たち人間もまた、自然の一部です。光、風、雨、四季。

実にさまざま自然のうつろいの中で、私たちはまいにちを営んでいる。だからこそ、この先長きにわたって暮らす街や、自然の前で謙虚であること。敬意を払うこと。私たちコアー建築工房が目指す、「しおらしき家」には、そんな思いが込められています。

そして、住まいづくりが、少しでも山の活性化と環境保全に繋がれば、という思いから、堺から近い山(紀州材)を構造材に利用しています。



DATA

設計 ●株式会社コア-建築工房
 施工 ●株式会社コア-建築工房
 紀州材納材 ●株式会社伸栄木材
 西牟婁郡上富田町岡2番地
 TEL.0739-47-2678



住み継がれる家

〈和歌山市〉



【住宅の寿命と更新】

住まい方は、家族の年齢に応じて変わります。設備の寿命はせいぜい20年。一方、木構造はずっと長持ちです。木の生長に必要な年月を住宅の寿命とする。紀州材を生かすために建て替えせずに、住まい方の変化に応じ最新の設備に更新できる家を提案します。

【汎用性】

長い耐久性と耐用性、高い耐震性能と断熱性能を有する住まいをリーズナブルな価格で提供するには効率的な工法が欠かせません。1. 構造と外皮、2. 内部間仕切り、3. 住まいの設備、の3要素に分けて作ることによって、長寿命、更新性、高性能、リーズナブルなコストを実現します。構造形式を標準化することによって汎用性が高まります。

【紀州材の魅力と体感】

床材は、面積が大きく直接肌が触る部位です。紀州材を床材として積極的に利用し、素材の良さを実感しています。

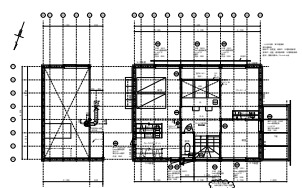
【住まいの性能】

耐震性能は最上級の等級3、断熱性能はゼロエネルギー住宅の基準を上回るUa値0.51W/(m²・K)です。さらに太陽熱による暖房装置を加えた安心感と快適性を備えた住まいです。

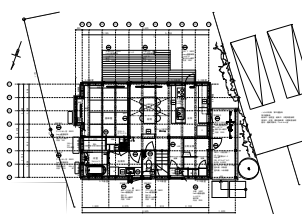
【株式会社和秋建設】

地産地消の考え方





【2階】



【1階】

DATA

設計 ● 株式会社半田雅俊設計事務所
 施工 ● 株式会社和秋建設
 和歌山市寄合町15番地藤井松ビル3F
 TEL.073-463-0748
 紀州材納材 ● 株式会社紀州熊野木材

同じ気候風土で育った和歌山の紀州材を使って家を建てる。
 昔は当たり前だった家づくりの考え方が、外国の木材が大量に入ってきたことで、ずいぶん減ってきているように感じています。
 年輪の目が細かく、強度や耐久性、色艶などに優れた紀州の桧や杉。
 全国的にも誇れる木々が、私たちの生まれ育ったこの和歌山にあります。
 その木材を適材適所に使いながら、木の本来持つ温かさや・柔らかさ・調湿性・優しい見た目・香りなど最大限生かせる空間作りを心がけています。
 また、技の伝承のために、大工さんに手加工で刻んでもらい、次世代の職人さんに技を残していく努力も続けております。
 地産地消の考え方のもと、家づくりを通じて、沢山のの人たちに紀州材の良さを感じてもらえるよう取り組んでいます。



愛犬と過ごす家

〈御坊市〉

施主様のご要望は、愛犬と心地よく過ごす家でした。愛犬の為、床は自然素材のムク材、常に愛犬の気配を感じていられるよう間仕切りを少なくし冷暖房にも考慮しています。

玄関を入ると留守番をする愛犬用の土間スペース、土間スペースから庭へ出るとシャワースペースを設けいつも清潔を心掛け、リビングスペースから庭へはウッドデッキを挟んで繋がりを持たせて全体に光が入り、風の通る家となっています。

【株式会社紀州産直住宅】



DATA

設計 ●株式会社紀州産直住宅
日高郡美浜町田井419-2
TEL.0738-32-2266
施工 ●株式会社紀州産直住宅
紀州材納材 ●ヤナセハウシステムズ株式会社



撮影：今西 浩文

H邸

〈有田川町〉

若い夫婦と二人の子供の専用住宅である。亡くなった父から譲り受けたミカン畑の一面を宅地化した敷地が持つ、おおらかな田園風景を壊してしまわないよう意識しながら設計を行った。風景に溶け込む建築を目指し、周辺地域で古くから残る家に広く採用されている切妻屋根型を採用。外壁の素材選定においても自然素材の家が多く残る地域環境にならない、米杉下目板張り＋自然保護塗料を採用し、ジヨリパット塗装を組み合わせることで風土に馴染みながらアクセントを持つ地域建築の新たなフックとなるファサード形成を試みた。

建築構成は建主の希望でもあった平

屋立ちとしている。紀州材で構成される大屋根に包まれた内部空間を持つこの建物の中に、二つのボックスを二つ子状に配置することで導線と視線を分割し、さらに回遊性をもった家事動線と組み合わせることで、一体の空間の中に違う距離感を持つ場を構成している。このいくつかの場は住まう人の感情や役割の変容に呼応して居心地の良い場所を作り出し、境界のあいまいな家族の気配がどこかに滲んだつながりあう空間を生む。ここで暮らす家族の豊かな関係へつながることを期待している。

一級建築事務所寿公



DATA

設計 ● 一級建築事務所寿公
有田郡有田川町小島332-7
TEL.0737-52-6080
施工 ● 有限会社寿公建設
紀州材納材 ● 龍神村森林組合



くの字の家

〈白浜町〉

くの字の家は、四人家族が暮らす、延床面積30坪ほどの住まいです。

敷地は、奥に狭い台形の土地のため、建物と敷地間の空き地をいかに活用出来るかが、今回のテーマになりました。

まずは長方形の建物で検討しました。

建物と敷地の間に、使い道のない三角形の空き地が生まれ、駐車スペースの確保もうまくいきませんでした。

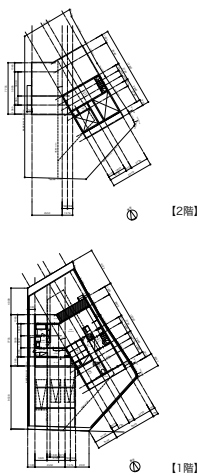
次に、くの字形の建物で検討しま

した。

すると、使い道のない三角形の空き地は消え、十分な駐車スペースも確保し、施主にもご納得頂けました。

しかし、直角ではない建物ゆえの施工の難しさが最後に生まれましたが、四角柱の代わりに丸柱を利用したり、木材を適材適所に手刻みすることにより、職人の技術と紀州材の品質と加工性の良さが活きる、くの字の家は完成しました。

【中村工務店一級建築士事務所】



DATA

設計 ● 中村工務店一級建築士事務所
田辺市下三栖1499-12
TEL.090-5240-6211
施工 ● 株式会社中村工務店
紀州材納材 ● 山路木材



DATA

設 計 ●株式会社スタジオパートナー
 御坊市島686-1
 TEL.0738-24-3343
 施 工 ●株式会社倉谷建築
 紀州材納材 ●株式会社シングハウジング



新宮市・丁邸

〈新宮市〉

新宮市の広い県道に面する敷地に
 完成の丁邸。

躯体と仕上げの適所に紀州材を使
 いました。

特にリビング壁の杉はクライアン
 トさんからも好評です。

良い家になりました。

【株式会社スタジオパートナー】



高台に建つラウンドリビングのある家

〈大阪府河内長野市〉

家を作る時に一番考えたのは立地条件を最大限活用した家づくり。

敷地東側に見える山は、春になると桜、秋になると紅葉が綺麗に咲きます。LDKにながらその四季を味わえるように窓の配置等にこだわりました。

又皆が顔を合わせながら団らんができるラウンドセカンドリビングや吹き抜け、スキップフロアーによる床下収納の配置等空間を最大限使用した住まいとなっています。

ラウンドリビングは開放的な高天井部分に紀州杉の化粧梁を。インテリアとしてデザインが溶け込むように構成美を見せ、外部軒天にも紀州杉を使用

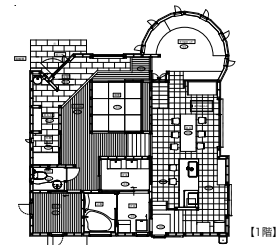
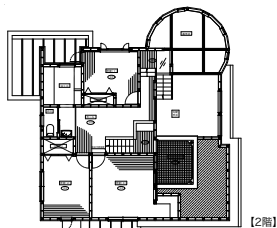
し外部のアクセントとしても使用しています。

又スキップフロアーを使用すると家事導線に不具合が出やすいのですがその部分も改善できる間取り構成とし使いやすさにもこだわりました。

また紀州材の利点として、森林浴のようなリラクゼーション効果、心地よい肌触りなどが挙げられます。

木だけのデザインでなく木が溶け込むデザインとし、木の香りが心地いい、思わず深呼吸をしたくなる様な、自然を感じる家に仕上げました。

【国土建設株式会社】



DATA

設計 ● 株式会社ライフプラステリア
 施工 ● 国土建設株式会社
 和歌山市手平4-6-70
 TEL.073-426-5669
 紀州材納材 ● 株式会社山長商店

西三谷の家

〈紀の川市〉

敷地は和歌山県の紀の川の北岸にあり、ゆるやかな河岸段丘の斜面には、水田が広がっています。ゆるやかに広がる棚田のような水田風景は、この地域独特の風景です。

この地に住宅を設計するにあたり、『その場所に住む』という根源的な事柄を考えることから始めました。周辺の風景に抗わず、この地域の自然の恵みを十分に取り入れ、自然の脅威から身を守ります。軒は太陽の光を季節によってコントロールし、夏の強い日差しを遮り、冬の暖かな光を室内に取り込みます。南北の大きな開口からは心地よい風が建物内を通過していきます。南西から来る台風の影響から家族を守るため、建物の南側は腰高を高くし、軒高を低く抑えています。西面は台風の影響を防ぐと共に、強い西日を遮ります。外壁仕上材として、杉の胴縁材（本来下地材）を仕上げ材として使用しています。

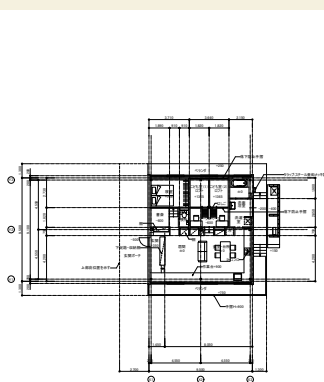
鉄骨・コンクリートという無機質素材と対比的

に使用することで、紀州材の良さ、良さ風合いを、より強く引き出します。

杉板は、年月を経て色あせていくことで、古き良き日本の家屋がそびえるように、しっかりと日本の風景に馴染んでいくと考えています。外壁材は杉の胴縁材に馴染ませるまま使用しています。強い耐久性を持つ紀州材だからこそ、また古びていく風合いが良いからこそ、あえて塗装をせずに使用しています。また、本来下地材である胴縁材を、加工することなくそのまま使用することで、容易にかつ安価に手に入る材料を使用することで、長期にわたるメンテナンスを容易にしています。

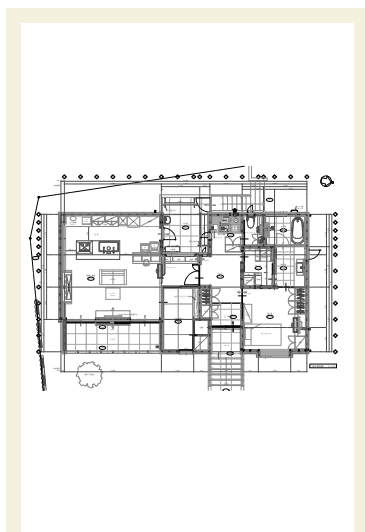
和歌山に建つ建物であるからこそ、常に良質な紀州材が、当たり前のように手に入り、当たり前に使っていきけるようになる事が、地域に根付いた紀州材の利用の方法の一つだと考えています。

[hana class]



DATA

設計 ● hana class
有田市辻堂70-2
TEL.0737-82-5083
施工 ● プラモ工房
紀州材納材 ● 株式会社登尾商店



DATA

設計 ● 大浦建築設計室
和歌山市船所70-13
TEL.073-452-7055
施工 ● 株式会社清水工務店
紀州材納材 ● 有限会社池田製材所

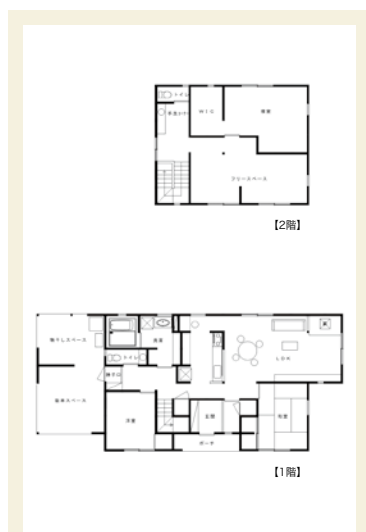


ホームページから問合せがあり、建築主を尋ね山深い南紀の町へ。
敷地は、緑の急傾斜が後方にある平坦地。インスピレーションカラーは「白」でした。
建築主からの要望は二つ。
2011年9月の紀伊半島大水害に既存母屋が被災された。その経緯から平屋でありながら床位置の高い家屋を希望された。
もう一つの与件は、猫との暮らし。
一番の特徴は、居間の一面を駆け上るステップ、その先には悠々と寝そべることの出来る檜の台座を設け、五連の高窓から遠望を楽しんでいる、ねこ三匹。
二つの与件を交錯させながら高床構造、外部構成、内部動線と考慮しました。

【大浦建築設計室】

ねこ・と・くらす

〈古座川町〉



DATA

設計 ● 佐藤住宅
有田郡広川町西広2-8
TEL.0737-62-3200

施工 ● 佐藤住宅
紀州材納材 ● 佐藤製材所



【佐藤住宅】

広川の家のプランは、家事のしやすい家がコンセプトです。
住宅と一体の屋根で車庫と物干しスペースを取り、勝手口・水廻りをまとめて配置したことで、スムーズな動線になっています。
リビングから水廻りが隠れるようにも配慮しました。
紀州材は、構造材はもちろん・化粧材にも多く使用しています。
外壁には杉板を塗装して使用し、板塀も同じ色で塗装し外構も含めて一体感が出るようにしました。
内装には、松の床、しっくい塗りの壁、杉の天井板を使用し、モダンな落ち着いた雰囲気の中に、薪ストーブと木の化粧梁がリビングのアクセントになっています。

広川の家

〈広川町〉



Finale the kishu Trofeo

〈橋本市〉

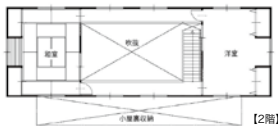
ゆったりとした日本家屋が点在する地域なので、「風土に合う木造住宅が希望」とお施主様。

構造材としてふんだんに使用した、目込みが善く強度・耐久性に優れた紀州産の良質材が様々な紀と織り成す、木の温もりと木の香りに包まれた豊かな空間のある家を造り上げました。

LDKは檜丸太が走るダイナミックな吹き抜けで、紀州材を用いた力強い木組に大工の技が光ります。

床はチーク材で天井は桐張り、壁は杉板を一抹場に張るなど多彩な無垢材が紀州材と織成し、木の温もりと木の香りが広大な空間と暮らしを包み込んでくれます。

8寸角の柱が堂々たる佇まいの2間続



【2階】



【1階】

DATA

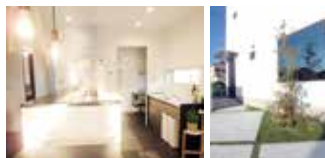
設計 ●株式会社川口建設
 施工 ●株式会社川口建設
 紀州材納材 ●龍神村森林組合
 田辺市龍神村東401
 TEL.0739-78-0246

【龍神村森林組合】

きの和室は、雪見障子や欄間などに繊細な職人の手仕事の技が生きており、広縁に用いた檜の縁甲板の床や、杉張りの天井が、紀州材と共に趣のある艶やかな印象を与えます。

外観は火山灰シラスのそとん壁に屋根は淡路瓦。日本の風土に合う板張りの深い軒には温かさを感じ、素材を生かした伝統的な外観が和歌山のゆったりとした風景にもしっかりとなじむ仕上がりとなっています。

紀州材が一番という気持ちと、今回は最後になる木の家コンテストで、必ず最優秀賞を取る!!という気持ちを込めて、タイトルはイタリア語のトロフィーを意味する「Trofeo」とさせて頂きました。



ホテルのようなやすらぎ空間の家

〈橋本市〉

日々の時間の流れから解き放たれる、ホテルのようなやすらぎ空間をコンセプトに建てられた家です。

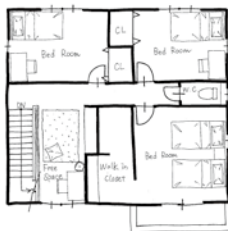
構造材には耐久性の優れた紀州材で、床も無垢材を使用し、シンプルさと温もりのある素材をミックスし、室内は白とダークブラウンを基調とし、落ち着いた色調で仕上げました。大きな窓から陽の光が降り注がれ、アイアン手摺がポイントの集成材の階段を照らし、幻想的な影をもたらしてくれるダイニングキッチンや、高窓より程よい光が射し、少し囲まれた空間が、落ち着き、ここよさのある北側のリビングが、日常生活空間でありながらも非日常的空间を創り出しています。

キッチン横にはパントリーとしても収納可能で、デスクカウンター付きの広々家事室。

洗面所とも隣接しているので、室内干しスペースとしても使用でき、勝手口もあるので、外へもすぐに干しに行くことが出来たりと、日常生活がスムーズに行える家事動線になっています。

2階に上がると、すぐに広がる壁一面収納のあるフリースペース兼書斎は、1階で過ごす家族の気配を感じるこの出来るご主人のプライベート空間。家族とともに過ごすベースはもちろん、プライベートスペースも充実した家です。

【丸石木材住宅株式会社】



【2階】



【1階】

DATA

設計 ●丸石木材住宅株式会社
橋本市東家5丁目4番1号
TEL.0736-34-2600
施工 ●丸石木材住宅株式会社
紀州材納材 ●石田製材所



Mediterranean interior

〈和歌山市〉

施主様が住まいを考えるにあたり、一番に家族の集う空間は落ち着きある空間・わんちゃんと一緒に楽しく生活する事ができる住まいとなる様にいろいろと打合せを重ねました。

その中でも紀州材の利点としてもあげられる、見た目も美しく温もりを感じられ、心地よい肌触りなどいろいろな良さが有り、構造材としても取り入れ、普段の生活からも紀州材の素材を感じる事が出来る様に、室内の化粧梁や化粧柱としても紀州材を取り入れました。

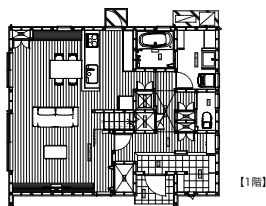
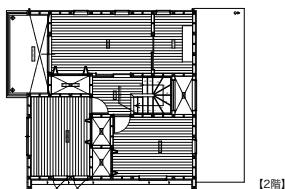
内装においても、地中海風テイストの水色や青系を取り入れて、壁紙や家具、窓枠までを青に塗装しテイストを

統一し、造作のTVボードなども無垢材(パイン材)で造り、家全体としても木部分とのバランスも良く仕上がっています。

間取り構成においても、回遊性のある動線計画で奥様の家事導線なども良く、室内空間における風の通りを考え、た窓の配置計画などで風通りも良く、家の中における生活環境も良く、わんちゃんとの一緒にの住まいとしても最適です。

素のみだけでなく、普段の家族(ご夫婦+わんちゃん)との生活が楽しくなるご夫婦の想いがたくさん詰まった温もり溢れた良い住まいとなりました。

【KK Design】



DATA

- 設計 ● KK Design
和歌山市島崎町1丁目4-301
TEL.073-422-0100
- 施工 ● 国土建設株式会社
紀州材納材 ● 株式会社山長商店

ちゃんと知って、無垢の木の魅力

Q 木の家は建築費が高いのですか？

A 木の家を建てる時に、よく誤解されがちなのが建築費。木造住宅は贅沢で割高というイメージでとらえられがちですが、一般的な建物の場合、木材費は総工費の10~20%といわれています。国産材にしても価格は、以前に比べて下がってきていますので、高価な銘木や無節や色合いなどにこだわらなければ「木の家」が他の工法で建てる家より割高とはいえません。



一般的に木の家の木材費用は総工費の10~20%が目安です。

Q 木の家は、住み心地がいいの？

A 木が持つさまざまな動きにより、快適な住み心地が得られます。湿度調節機能や優れた断熱性、木肌の美しさがやわらかな光沢と質感を生み出すことなどにより、人の心や体にやさしく働きかけて気分をリフレッシュさせます。又、木の家なら疲労も少なくて済みます。床や廊下を歩くと、木の感触はやわらかく、衝撃を吸収する働きがあるためです。

誤解していませんか
“木造住宅”

Q 木に触れると温かく感じるの？

A 木は熱を伝えにくい性質を持っています。木材には細胞壁がつくる無数の隙間があり、その中に熱を伝えにくい空気がたくさん含まれているので熱伝導率が低く、手や足が触れた時、温かく感じられるのです。たとえば、床がコンクリートやビニールタイルなどの場合、熱伝導率が木より高いため、足裏の熱が奪われて冷えてしまいますが、木の床なら足裏の温度はそれらに比べて低下しません。

建てる前に
知っておこう
木のアレコレ
Q&A

Q 木は呼吸をする、と聞きましたか？

A 木は伐採されたあとも空気中の水分を吸収・放出しながら、周囲の湿度が一定になるように調節する「調湿機能」を持っています。このため高温多湿の夏や、乾燥の激しい冬でも木の家は快適そのもの。まさに木の家は、気候変化の著しい日本の住まいとして適しているといえます。



Q 木は腐ることもあると聞きましたか？

A 木材の弱点は腐朽すること。水分を多く含んだ木は、カビが発生しやすく、それが原因で腐り始めてしまいがちです。十分に乾燥した木材は、カビの抑制以外にも反りや割れなどが起こりにくく、ふすまの立て付け不良や床鳴りなどの防止にもつながります。又トラブルを未然に防ぐためには、湿度がたまりやすいお風呂や水回りなどの換気をこまめに行い、梅雨の除湿、冬の結露対策も忘れぬように心がけるのが大切です。

Q 火災時、木の家は燃えやすい？

A 木といえば燃えやすいイメージを抱きがちですが、木造住宅は他の材質の家に比べて決して火事に弱いわけではありません。たとえば、鉄やアルミニウムは500~800度になると急速に強度が低下し、曲がってしまいます。木材は燃えるスピードが1分間に約0.6ミリほどで、ゆっくりと燃えています。また厚みのある木材なら、中心部まで燃え尽きるのに時間がかかるため、建物の倒壊を防ぐことができるのです。



Q 木の家はシックハウスにならない？

A いま問題になっているのが、揮発性有機化合物が原因とされる深刻なアレルギー症状を引き起こすとされる、シックハウス症候群。住宅内のビニールクロスや、接着剤を多用した新建材から揮発するホルムアルデヒドなどをはじめとする有害物質が原因とされ、住宅の高気密性も一因と考えられています。有害な化学物質を出さない無垢の木材で建てる家は、まさに健康住宅そのものといえます。

Q 木の家は地震に耐えられるの？

A 家を作る時、気になるのが耐震性。阪神大震災で倒壊した建物の中には古い木造住宅も含まれていたため、「木造は地震に弱いのでは？」というイメージでとらえられがちなのです。でも実際は、木造の建物自体が地震に弱いわけではありません。「適切な耐力壁を配置する」「土台と柱を緊結する」「腐朽に強い木材を使用する」等の設計・施工をきちんとすることで地震に強い木の家を建てる事は出来るのです。

木の国・紀州の森で最高級の 杉や桧が育っています。

紀州・和歌山県は、古くから“紀州・木の国”と呼ばれ、
優れた木材を産み出す林地として位置づけられてきました。
なかでも住宅用の木材としての強度や、色合い・目合いの良さなどで評価され、
「木の家」づくりにふさわしい木材として注目されています。
紀州材は、植林から伐採・製材まで、数十年もの年月を費やして生産されているのです。

長い年月をかけて受け継がれた技術のもと、
強く美しい木材を産み出し、お届けしています。



強さ抜群

紀州材

1

造林・育林

杉や桧など樹種に適した場所を選び、厳選した苗木を植え、育てていきます。



3

製材

原木を製材所に搬入し、製材等を行います。



伐採・搬出

高性能林業機械等により伐採・搬出され用途に合わせて使用できる長さ・太さに切り分けられます。

4

乾燥

施工後の木材の割れや狂いが出ないために乾燥させます。



2

選別

曲がりや反り、たわみ、節の程度などを目視やグレーティングマシンでチェックし、等級付けを行います。

5

プレカット

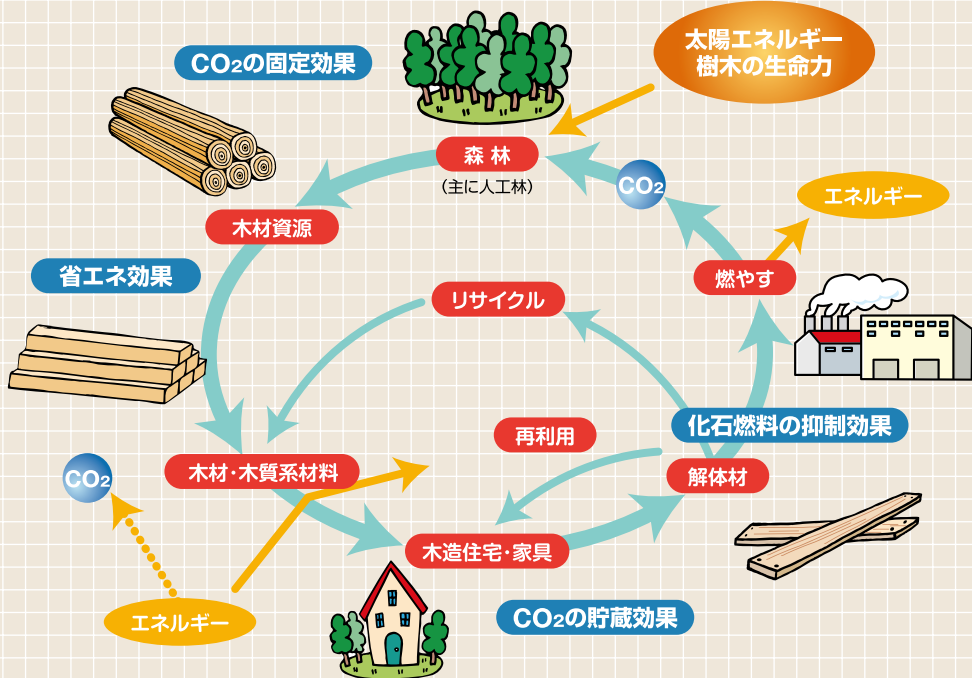
CADマシンと高度なオペレーターの技術で、高精度な木材加工が行われます。

6

木の家は、街の中で 再び森になります。

自然の恵みである「木」は、再生可能な循環型資源です。

森で育った木は、大気中から二酸化炭素(CO₂)を取り込み、固定します。伐採・製材され、柱や梁など建築用材として使われた後も、炭素はそのまま木材の中に蓄えられるため、「木の家」を建てると街の中に「第2の森」を作ることになります。森林を正しく管理し、木材を活用し、植林をする。こうしたサイクルの継続が、山村の雇用を創出するとともに、環境の保全や水源のかん養など、森林の持つ永続的な有用性に貢献します。国産材の家が建ち並ぶ街と山村のより良い共生は、これからの私たちの生活を支える基盤となっていくでしょう。





和歌山県農林水産部 森林・林業局 林業振興課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL.073-441-2968 / FAX.073-433-1037

強さ抜群 **紀州材**

【紀州材ホームページ】 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070600/kisyuzai/index.html>



この印刷物は地球環境に優しい
植物性インキを使用しています。